

社会资本総合整備計画 事後評価書

令和07年09月19日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

C 効果促進事業	基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設設計画 策定状況		
H31 R02 R03 R04 R05																						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
市街地整備事業	C13-001		都市防災	一般	ひたちなか市	直接	ひたちなか市	-	-	交通安全施設整備(ひたちなか市地区)	ガードパイプ設置, ポストコーン設置, 避難路照明灯設置, 側溝蓋かけ, カラー舗装設置	ひたちなか市						25	-			
基幹事業の整備に併せ, 学校周辺の交通安全対策を実施することにより, 防災性と子どもの安全性向上を図る。													小計					25				
													合計					25				

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
ひたちなか市都市整備部都市計画課が実施	令和7年度
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の地域を対象に避難路、一時避難地の整備を進めたが、市内全域を対象としたアンケート結果では、防災対策に関する市民満足度が上昇せず、目標を達成できなかった。 ・避難路や通学路の拡幅、カラー舗装、道路照明灯などの交通安全施設の設置により、交通事故による負傷者数が減少した。
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の拡幅整備により、児童の通学時の安全性が向上した。また、緊急車両等の通行が容易となり災害時の動線が確保された ・排水ポンプ施設の嵩上げや一時避難地（公園）整備により、地域の防災性の向上が図られた。
特記事項（今後の方針等）	
次期計画においても、避難路や一時避難地の整備を行う。 また、関係者との調整が難航している路線等についても引き続き事業の進捗を図っていく。	

目標値の達成状況					
番号	指標（略称）				
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因			
1	防災対策に対する市民満足度				
	最終目標値 36%	一部の避難路および一時避難地について用地取得が難航し、計画期間内に整備を進めることができず、満足度が上昇しなかった。			
2	年別交通事故発生状況の負傷者数				
	最終目標値 506人				